



内閣府特命担当大臣

佐藤 勉

このたび、麻生内閣において沖縄を担当する内閣府特命担当大臣に就任いたしました。

大臣就任後、まずは現地に赴き、地元の方々と意見交換させていただくことが必要と考え、就任早々の10月4日、沖縄を訪れました。

今回の訪問では、仲井眞知事を始め各界の関係者とお会いし、就任の御挨拶とともに、沖縄をめぐる諸課題について

率直な意見交換を行うことができました。

また、国立沖縄戦没者墓苑等の参拝を通じ、先の沖縄戦における県民の皆様の筆舌に尽くし難い苦難とともに、平和の尊さへの思いを新たにしました。

普天間飛行場の視察では、市街地に隣接して広がっている姿を実際に見て、一日も早い移設・返還の必要性を実感したところです。

沖縄政策の大きな課題としては、自立型経済の構築と基地負担の軽減があると考えています。

自立型経済の構築に向けては、観光や沖縄の魅力・優位性を活かした各種産業の振興、沖縄科学技術大学院大学構想の推進を始めとする科学

Greeting

## 就任のご挨拶

技術の振興、人材育成や雇用の安定などに積極的に取り組みたいと思います。

また、基地負担の軽減については、在日米軍施設・区域の集中による県民の皆様の御負担が少しでも軽減されるよう、地元の方々の声をしっかりと伺い、関係

機関に伝え、必要な調整を行うなど、政府と沖縄との橋渡し役を務めてまいりたいと思います。

今回の訪問を通じて、現地の方々の御意見を伺い、東京では直接感じることのできない県民の皆様の思いや

地域の実態の一端を知ることができました。沖縄のために何ができるかということをしつかりと考え、沖縄担当大臣として、地元の立場に立つて、今後の沖縄の更なる振興に全力で取り組んでまいります。



「平和の火」前的大臣（平和祈念公園）